

INFORMATION

症例検討会のご案内

北九州市立医療センターでは、地域の医療従事者の方々と一緒に医療技術向上のため、下記のとおり症例検討会を実施しています。

症例検討会名・開催日	時間・場所
■乳腺テクニカルカンファレンス 毎月 第2・4月曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
乳腺外科・放射線科・病理診断科の医師、放射線技師、臨床検査技師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■呼吸器カンファレンス 毎週 火曜日開催	時間：17時～18時 場所：別館6階 講堂
呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■消化管カンファレンス 毎月 第3木曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
消化器内科・消化器外科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■周産期症例検討会 奇数月 第3水曜日開催	時間：19時～20時30分 場所：別館6階 講堂
産婦人科・小児科・小児外科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	

※日程は都合により変更・中止になる場合がございます。事前に医療連携室へご確認の上、ご参加いただければ幸いです。
 検討ご希望の症例がございましたらぜひご参加下さい。皆さまの多数のご参加をお待ちしております。
 参加申し込みは不要です。(医療連携室 TEL：093-533-8660〈直通〉)

地域医療従事者研修会のご案内

日程	テーマ	講師
1月24日(木)	「肝臓がんの最新治療」 ・肝臓がんの内科治療 ・肝臓がんの外科治療	内科主任部長 重松 宏尚 外科部長 阿部 祐治
2月28日(木)	「糖尿病の最新治療と重症化予防について」 「高齢者糖尿病患者に対する自己注射支援の実践について」	糖尿病内科主任部長 足立 雅広 糖尿病看護認定看護師 木村 久美
3月14日(木)	「チームで取り組む褥瘡対策」 ・褥瘡局所管理の実践 ・予防的スキンケアとチームでの褥瘡対策の実践	皮膚科主任部長 三田村 康貴 皮膚・排泄管理担当係長 皮膚・排泄ケア認定看護師 辰島 美和

▶場 所：北九州市立医療センター 別館6階講堂
 ▶時 間：18時30分～(1時間～1時間30分程度)
 ※事前の申し込みは必要ありません。
 【問い合わせ先】医療連携室 TEL.093-533-8660(直通)

市民公開講座のご案内

日 時 2月23日(土) テーマ 最新の内視鏡手術について 診療科 消化器内科・消化器外科 日 時 3月9日(土) テーマ 乳がん・婦人科がんについて知っていますか? 診療科 産婦人科・乳腺外科 場所 北九州市立商工貿易会館 2階多目的ホール 受付開始 ：13時30分～ 講 演 ：14時～16時 【問い合わせ先】事務局 管理課 TEL.093-541-1831(内線3105)	参加費無料
--	--------------

※事前の申し込みは必要ありません。





北九州市立医療センターニュース「輪」
 第72号 2019年1月31日発行

＜基本理念＞
 わたくしたちは公共的使命を自覚し
 心のこもった最高最良の医療を提供します

編集長：尼田 覚

©2019 北九州市立医療センター /
 本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為は
 ご遠慮ください。

編集後記 明けましておめでとうございます。平成最後のお正月はいかがでしたでしょうか。今年はいろいろ大変な年になります。年号が変わります。5月に10連休があります。消費税が上がるようです。ワールドカップラグビーが開催されます。とうとう東京2020の前年になります。がんゲノム医療が始まります。そして当院はいよいよ独法化します。広報活動を通じて、新しい時代で活躍する人たちを応援していきます。災害のない1年でありますように。(尼田)

〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号 北九州市立医療センター
 TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>

広報委員会「輪」編集委員

尼田 覚 重松宏尚 小園真吾 大津博恵 杉本優子 森崎恵美子
 高見将彦 小野達也 木村祥子 佐藤美登里 天野健司 高橋未来美



HP：QRコード



FB：QRコード



北九州市立医療センター



北九州市立医療センターニュース

KMMC
 Kitakyushu Municipal Medical Center

vol. **72** | January 2019

CONTENTS

- 01 2019年 年頭のごあいさつ
- 02 トピックス／患者満足度調査(外来)の結果について
- 03 医療連携／医療連携の会について
- 05 医療安全週間の取り組み
- 06 院内紹介／第8回業務改善活動報告会
- 07 トピックス／2018年度 活動報告
- 08 看護の広場／5階北病棟
- 09 登録医のご紹介
- 10 医療連携室だより

INFORMATION

症例検討会のご案内
地域医療従事者研修会のご案内
市民公開講座のご案内



〔表紙写真について〕
当院では、今年も患者さんに「ハート」をたくさん込めた、思いやりのある看護を提供していきます。師長会後の決意表明の1枚!



2019年 年頭のごあいさつ

北九州市病院局長
古川 義彦

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

新年を迎え、皆さまに一言ご挨拶を申し上げます。

医療センターと八幡病院は、来年度から市が新たに設立する地方独立行政法人「北九州市立病院機構」が運営を行うこととしており、2019年度から2023年度までの今後5年間の活動指針となる「中期目標」について、市議会の議決をいただいたところです。

この中で、医療センターでは、引き続き市立病院として担うべき医療として、感染症・周産期医療や災害時における医療などの政策医療のほか、北九州区域内において有数の実績を示しているがん診療について、力を入れて取り組むこととしております。

また、こうした政策医療をはじめとする市立病院の使命を安定的・継続的に果たすためには、しっかりとした経営基盤を確立することが基本であります。

その達成に向けては、具体的な数値目標を定めて取り組むことが大変重要であり、現在、病院現場を含めて病院局一丸となって具体的な計画を作成しているところです。

私どもとしましては、これまで以上に市立病院の役割や責任をしっかりと果たすとともに、患者さんや地域医療機関の皆さまに愛され選ばれる病院として、信頼を得ることが何より重要だと考えております。そのため、新法人の中期計画では「地域医療機関からの信頼の確保」を掲げ、連携の強化に向けて、より一層努力する所存です。

病院経営を取り巻く環境は今後ますます厳しくなくことが予想されますが、「独法化して市立病院はさらに良くなった」と市民や地域医療機関の皆さまに評価いただけるように、職員一丸となって、取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

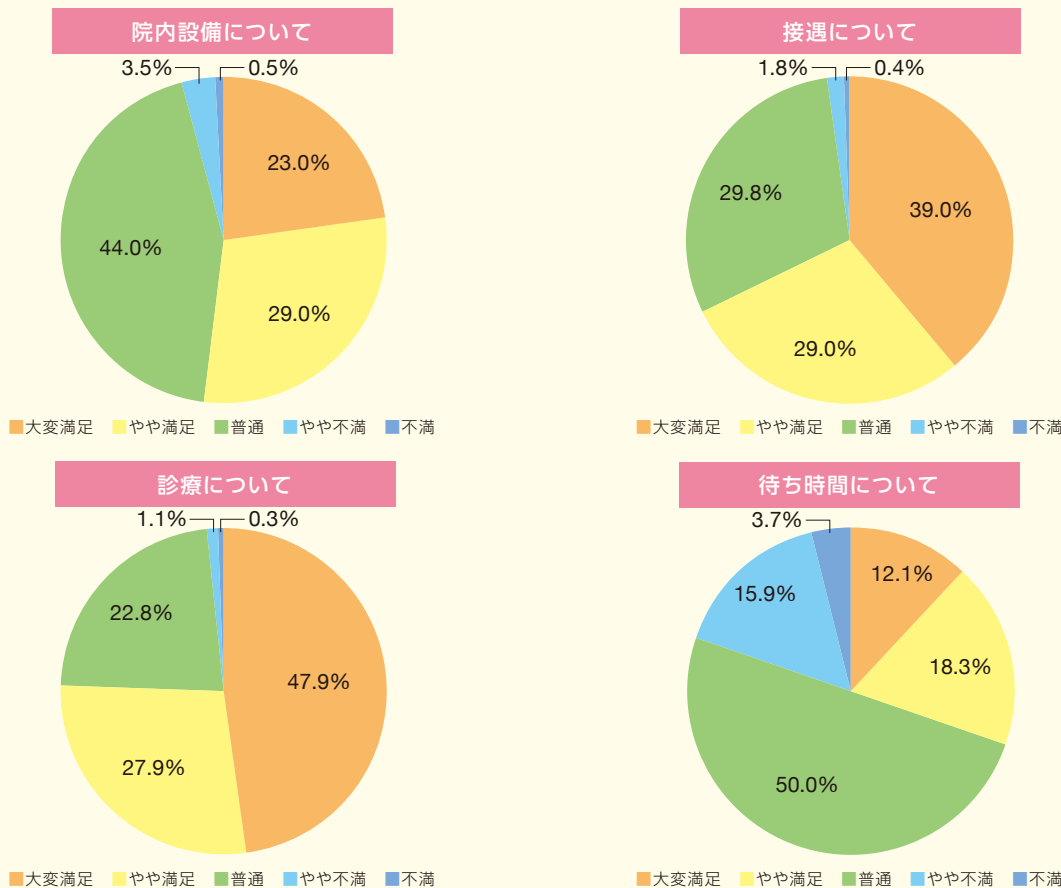
患者満足度調査(外来)の結果について

患者さんの意見・要望を把握し、医療サービスの向上など今後の病院づくりに役立てるため、外来受診された患者さんにご協力いただき、満足度のアンケート調査を実施いたしましたので、その集計結果についてご報告いたします。

■アンケート実施概要

- (1)実施時期 2018年10月15日(月)～19日(金)
- (2)調査対象 実施時期に来院された初診・再診外来患者さん 300人
- (3)調査概要 院内設備、接遇、診療、待ち時間について31項目を5段階評価(大変満足5点、やや満足4点、普通3点、やや不満2点、不満1点)で無記名アンケートを実施
- (4)回答数 253件(回収率84.3%)
- (5)総合評価点数 初診：75.8点(昨年比－4.3点) 再診：74.1点(昨年比－5.7点)

集計結果(初診、再診の各項目のポイント合計から評価ごとに按分したもの)



調査結果を踏まえて

接遇や診療の満足度について、約7割の患者さんから「大変満足」、「やや満足」の評価をいただき、高い評価を得ていることがわかります。しかしながら、待ち時間については患者さんの満足度が低く、改善が必要であるといった調査結果となりました。また、個別の自由意見においても、待ち時間に関するご意見を数多くいただきました。

待ち時間については、採血待ちの患者さんに対する専用の番号札による管理や診察予約時間の分散等、短縮に向けて、これまでも改善を図ってきたところですが、現状は外来患者さんの数が多く、それに比例して、待ち時間が長くなっています。

今後について、接遇や診療といった高い評価をいただいている項目については、これまで通り、スタッフ一人ひとりが鋭意努力していきます。また、待ち時間の短縮に向けて、これまで以上に、計算事務等の迅速化や地域の医療機関の皆さまへの逆紹介の推進などに努めていきたいと考えております。

外来委員会では、今後もこのアンケート調査の結果やご意見を踏まえ、患者さん視点で課題を見つめ、医療サービス向上のための検討を重ねていきたいと考えています。

最後になりましたが、ご協力いただきました皆さま方に心から御礼申し上げます。

外来委員会委員長 大野 裕樹

医療連携の会

Medical collaboration



医療連携管理室長
岩下 俊光

平素は当院との医療連携にご協力、ご理解、ご支援いただき感謝いたしております。

2018年11月15日の当院の医療連携の会にお忙しい中、多数の方にご参加いただきありがとうございます。今年の医療連携の会は当初7月3日に開催予定でしたが、台風7号の接近により、前日に中止にしました。ご迷惑をお掛けしました。お詫び申し上げます。予算、日程のこともあり、今年の医療連携の会は中止の予定でしたが、連携していただいている先生方、施設との連携には顔の見える関係が大事であり、懇親の場はぜひ必要とのこと、11月15日に開催させていただくことにしました。

第一部としての研修会では、

- 中野徹院長の独立行政法人化に向けての取り組みについて
- 水谷孝弘消化器内科主任部長の消化器内科の取り組みの講演
 - ・外来患者数、入院患者数、検査件数及びESDの実績報告、内視鏡の最新機器導入による環境整備、各医師の得意分野の紹介と逆紹介の推進について
- 濱武基陽呼吸器外科主任部長の呼吸器外科の取り組みの講演
 - ・肺がんの現状と生存率の説明、肺がんの外科治療についての説明、胸腔鏡下肺区域切除の症例紹介
- 尼田覚地域連携担当部長の医療連携の取り組みの講演
 - ・紹介患者、画像依頼件数の紹介
 - ・地図を利用した病院分析の導入について
 - ・連携ネット北九州の機能紹介
 - ・訪問看護ステーション連絡会議の設立等の後方支援の紹介
- 大野副院長から新任幹部、新任主任部長、認定看護師の写真紹介を行いました。

第二部の懇親会は宇野卓也小倉医師会会長にご来賓のごあいさつをお願いし、吉田良門司医師会会長に乾杯の音頭をとっていただきました。

今年は173施設から320名の方にご出席いただき、当院の参加者118名を加えて総勢438名となりました。昨年よりご案内人数を制限したため、昨年の640名より約200名少なくなりました。その分会場にスペースの余裕があり、十分に懇親の機会が得られたのではと感じております。

今年の医療連携の会が7月から11月に延期になりご迷惑をお掛けしましたが、その間に当院にとっては嬉しいニュースがありました。9月12日の国立がん研究センターのがんの5年生存率(2008年、2009年症例)の公表です。

それによりますと当院の5大がんの生存率は全国のがん診療連携拠点病院427施設のうち追跡率90%以上の251の病院の中でも上位の成績で胃がんは71.6%で全国13位、九州1位、大腸がん70.7%、全国20位、九州2位、肺がん45.5%、全国19位、九州4位、乳がん91.3%、全国21位、九州4位、肝臓がん39.5%、全国37位、九州12位でした。このような良好な治療成績を上げられたのも当院が以前から(1968年がんセンター設立、澤田藤一郎院長)がんの診療に力を入れてきた成果であり、外科、内科、放射線科、病理、麻酔科、診療支援部を含めた病院全体の総合力と自負しています。

それ以上に当院にご紹介していただいている医院、病院の先生方のおかげと心から感謝いたしております。この場をお借りして感謝申し上げます。

今後がんの患者さんの生命予後、QOLを改善できるように病院総力をあげて精進する所存です。今後とも当院との連携にご協力、ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



中野院長のあいさつ



岩下連携室長のあいさつ



医療連携の会 当日の様子



尼田医師による講演

濱武医師による講演

水谷医師による講演

「連携ネット北九州」の説明の様子

会場受付の様子

医療安全週間の取り組み



医療安全担当課長
山下 和美

医療機関においては、医療安全に関する職員の啓発を進めるとともに、医療安全を推進する組織体制を構築することが求められています。医療に安全文化を根付かせることが、医療安全管理室の役割です。現場へ新しい情報を伝え、インシデントの再発防止に力を入れています。その取り組みには、職員の協力が不可欠です。少しずつ安全文化は根付き、看護師からのインシデント報告から、多職種からも増え、未然防止できた報告件数も年々増加しています。

「患者の安全を守るための協働行動」の一環として、医療機関などにおける取り組みの推進を図り、これらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として「医療安全推進週間」が設けられています。毎年11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を当院でも「医療安全推進週間」としています。(今年度は11月25日～12月1日)

今回、各部署で日頃から安全に対する頑張っている取り組み内容のポスターや安全標語を募集し掲示しました。安全意識を高め、安全文化を根付かせるための取り組みとして、多数の部署より協力が得られました。応募されたポスターや標語は、さらに院内のスタッフに投票を行ってもらい、ポスターにおいては最優秀賞作品1位2位を決定し、標語は、1位を院内で表彰しました。今後も院内で協力し、推進してまいります。

また、2019年度に向けた新しい取り組みとして、医療安全に関して周知徹底する内容をカレンダーとして作成しました。各部署に配布し、周知徹底のための新たなツールとして活用していく予定です。



投票箱

お知らせ文



安全標語



各部署の医療安全の取り組み



日本医療マネジメント学会(IN長崎)にて医療安全管理室の取り組みを「インシデントの対応力向上を目指して」として発表しました。



医療安全管理委員会プロジェクト部会：医療安全カレンダー作成



医療安全対策ワーキンググループ集合



院内紹介



業務改善活動推進委員会 委員長
大津 博恵

第8回業務改善活動報告会

今年度の業務改善活動報告会を1月11日に開催しました。当院では、職員自らが職場の課題や問題点を発見し、その改善に向けて取り組む活動の報告会として毎年業務改善報告会を開催しています。この報告会は今年で8回目を迎え、院内では恒例の行事になりました。

今年度は8演題の発表で、日々業務改善に取り組み、成果を上げている発表でした。審査の結果、最優秀賞は集中治療室の演題「ごみ分別の意識を向上させる取り組み」が受賞しました。

循環動態の不安定な重症患者や手術後患者が入室する集中治療室での医療廃棄物、ごみ分別への取り組みは職員一人ひとりが意識を持ち改善活動に取り組んだ成果だと思います。

その他、優秀賞として薬剤課、医療安全管理室、事務局管理課の取り組みが選ばれました。

今後も単なる業務改善に止まらず院内のすべての「ひと・もの・しくみ」を改善の対象とし質の改善を目指したいと思います。



院長と受賞者



司会進行の様子



質疑の様子



薬剤課発表



集中治療室発表



第8回業務改善活動報告会



最優秀賞 集中治療室



医療連携室発表

発表演題

	演題	所属	演題	所属
1	医療安全意識向上を目指して	医療安全管理室	5 DVDを利用した教育ツールによる手術準備期間の短縮化	看護部 手術室
2	病棟ケアの取り組みについて～できる能力に働きかける～	看護部別館 4階病棟	6 地域の看護とつながるために～訪問看護ステーションとの連絡会議を通して～	経営企画課 医療連携室
3	院外処方箋への検査値表示と疑義紹介への介入開始による効果	診療支援部 薬剤課	7 事務局管理課の働き方改革実践	事務局 管理課
4	ごみ分別の意識を向上させる取り組み	看護部 集中治療室	8 効率的な病床管理のための朝ミーティング	看護部 看護管理室

2018年度 活動報告

TOPICS トピックス

12/4 火 美味しい給食を提供するために!

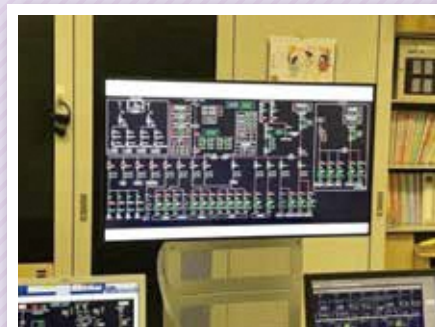
2018年度第2回目の調理研修会を開催しました。今回の研修では①ハンバーグやスパニッシュオムレツ等の新メニューの導入検討②正月用食品の品質確認を行いました。

市立八幡病院の栄養士さんや食品業者さんとの意見交換も行い、患者さんの健康を考えながら食事を作っています!



11/10 土 電気設備法定点検(非常系)を実施しました。

当院本館・別館・管理棟の電気設備法定点検(非常系)を実施しました。法律で定められた点検で、年2回の実施が義務となっています。保安協会様など、たくさんの業者さんのご協力のもと、大きなトラブルなく完了しました。災害拠点病院にも指定されている当院は災害が起きた場合でも市民の皆さまに、安全かつ安心な医療を提供するよう努めます。



12/23 日 ヤングサンタ現る!

当院にサンタクロースがやってきました! 若いサンタさんが小児病棟の患者さんにプレゼントを渡してくれて、みなさん大喜びでした! ^_^

実はこの取り組み、北九州青年経営者会議さん主催の「ヤングサンタ」というイベントです。ボランティアの方々が、北九州市内の小児病棟や児童養護施設、一般家庭に訪問してくれて、これまで20年間、計5,000人を超える子ども達に「夢」と「プレゼント」を届けてくれています!「一人でも多くの子ども達を笑顔にしたい」という思いで活動が続けておられる関係の皆様へ感謝申し上げます!



12/7 金

陰圧テント設置訓練を実施しました。

12月7日(金)に北九州市保健所と新型インフルエンザ等の患者発症時に診療で使用する「陰圧テント」の設置訓練を行いました。感染症発症時、迅速に患者さんを受け入れられるよう平時から備えておくことを目的として実施しています。



12/20 木

病棟クリスマスパーティー☆

4階北・西棟2階病棟クリスマスパーティーを開催しました。出し物発表の後にはサンタさんが登場!クリスマスプレゼントをお渡ししました! 🎅



看護の広場

5階北病棟

よりよい周術期看護を目指して



5階北病棟 看護師長 上田 富子

5階北病棟は、ベッド数53床の消化器外科病棟です。がん診療連携拠点病院として地域の中核的役割を担う当院において、主に手術療法や化学療法を目的とした患者さんを受け入れています。看護師30名、看護補助者6名で、安全かつ安心できる療養環境の提供に日夜取り組んでいます。非常に多忙な病棟ですが、各スタッフがプロ意識を高く持ち、活気あふれる病棟です(写真1)。

近年、がん治療の進歩とともに治療を受ける患者さんの平均年齢は上昇傾向にあります。多くの基礎疾患を有することもあり、早期退院はもとより、退院時における生活の質(QOL: Quality Of Life)をいかに維持・向上できるかが我々の使命と考えています。

当病棟には、集中ケア認定看護師(増居洋介)と皮膚・排泄ケア認定看護師(川上佳奈)が在籍しています(写真2)。スタッフとともに質の高い看護の提供を目指して、術後の合併症予防や早期回復、自立を支援する目的で入院から退院まで積極的な関わりをしています。

特に、人工肛門を造設された患者さんはさまざまな不安や悩みをお持ちです。患者さんやご家族に寄り添い、住み慣れた環境に1日でも早く戻れるように、自立への援助や精神的援助に力を入れています。

また、多職種(医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士)によるチーム医療も積極的に行っています(写真3)。外科総合カンファレンス(写真4)を毎週水曜日に開催し、多くの職種間で治療や業務に関するさまざまな意見を交わしています。そして、早期回復に欠かせない栄養療法も、栄養サポートチーム(NST)との関わりを密に取ることで、個々の患者さんに応じた栄養補助食品の提供ができています(写真5)。退院支援では、自宅退院や転院に向けて入院初期からアセスメントを行い、必要な社会資源の提案や在宅医療への橋渡しができています。

最後になりますが、これからも「最高最良の医療」と「質の高い心温まる看護」が提供できるように、スタッフ一同努力してきたいと思います。



写真1: 5階北病棟スタッフ



写真2: 左 皮膚排泄ケア認定看護師: 川上佳奈
右 集中ケア認定看護師: 増居洋介



写真3: 理学療法士: 左から垣添慎二・坂本佳奈美
言語聴覚士: 三島章裕



写真4: 外科総合カンファレンスの様子



写真5: 左/管理栄養士: 大山愛子、右/NST看護師: 吉田佳代子



登録医のご紹介

Clinic
1

医療法人天誠会 あまのクリニック

INFORMATION

所在地：小倉北区東篠崎3丁目5-48 院長：天野 雅義
TEL：093-967-9186 診療科目：内科、消化器内科、外科
FAX：093-967-9187



院長
天野 雅義



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	●	×
17:00~19:00	●	●	●	●	●	×	×

●は予約診療となります。



アピールポイント

当院では、病気の治療はもとより、病気を未然に防ぐケアにも目を向け、地域の方々の健康寿命延伸に微力ながら貢献していきたいと願っております。患者さんにとって一番身近な“かかりつけ医”として、生活習慣病のケアから末期がんの在宅医療まで、幅広い診療形態（外来、訪問）でサポートさせていただきます。

市立医療センターへの一言

いつも在宅患者さんの急な病変時にも快く対応していただきありがとうございます。在宅医療を進めていく上で緩和ケア病棟との連携、医療的ケアの必要なお子さんがどんな状況でも、ご両親と大切な時間をご自宅で過ごしていただけるよう、総合周産期母子医療センターとの連携を密に取らせていただければと思っております。

Clinic
2

医療法人 くろき・ひろクリニック

INFORMATION

所在地：小倉北区上到津3丁目8-11 院長：右田 博文
TEL：093-651-7773（形成外科・美容外科） 診療科目：内科、小児科、アレルギー科、
TEL：093-651-3847（内科・アレルギー科） 糖尿病内科、形成外科、美容外科



副院長 院長
右田 巳賀 右田 博文



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	×	●	●	●	×
14:30~17:30	●	●	×	●	●	●	×

●は予約診療となります。



アピールポイント

内科・小児科は、1952年に母が開設した当初から、かかりつけ医としての急性疾患、また糖尿病療養指導士、管理栄養士とともに生活習慣病に力を入れた診療を行っています。形成・美容外科は、傷跡の治療のほか、視力障害、頭痛、肩こりの原因にもなる眼瞼下垂の治療に力を入れています。

市立医療センターへの一言

市立医療センターが、がん治療の拠点病院であるという、患者さんの認知度はとても高いと感じています。がんの初期治療に加え、初診時に既に療末期で治療方針に苦慮するような方も快く受け入れてくださり、最後までご加療いただきましたこと感謝しております。

明けておめでとうございます

新たな年を迎え、皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、昨年は当院医療連携におきまして、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、連携室MSW、入退院センター看護師の増員により入院前から退院を見据えた後方支援の強化に取り組み、前方連携事務も人員を増やし地域の先生方よりのご紹介の受け付けや緊急の診察依頼の調整などスムーズな受け入れ体制の充実に取り組んできました。

2019年も医療連携室では、地域の医療機関や在宅部門の方々との連携に力を入れ皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

地域医療連携推進担当係長 佐藤 美登里



1階医療連携室（後方）



2階医療連携室（前方）

【医療連携室】

TEL 093-533-8660（直通）FAX 093-533-8718 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>
E-mail: byou-iryuu-renkei@city.kitakyushu.lg.jp ※患者さんのご紹介は、E-mailでは受付けておりません。

医療連携室だより

医療連携を基本に業務内容の充実を図り、地域医療機関、患者さん、職員から安心して頼りにされるよう取り組んでいます。